

Title	フィリップヴィッチ原著 気賀勘重解説 経済政策後篇 (下巻)
Sub Title	
Author	
Publisher	三田学会
Publication year	1912
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.6, No.2 (1912. 4) ,p.380(192)-
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	批評と紹介
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19120400-0192

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

三田學會雜誌

明治四十五年第三號

第六卷 第三號 目次

介紹

フィリップポグイチ氏原著 氣賀 教授 解説 經濟政策後篇下卷

雜 錄

千八百九十六年以來の物價變動の原因
 慶應義塾 大學院生 增 井 幸 雄

室町時代の經濟史的事實の一端
 文學士 松 本 彦 次 郎

米國都市委員制度の特徴
 慶應義塾 大學院生 村 田 岩 次 郎

論 說

英國炭坑最低賃銀法
 法學博士 關 一

英國職工組合の法制的地位を論じて
 法學博士 堀 江 歸 一

最低賃銀國定制度に及ぶ
 法學博士 佐 野 善 作

閑却せられたる銀行貸出の二方面
 法學博士 神 戸 正 雄

土地價格の上騰に就きて
 法學博士 W.W. McLaren, Ph. D.

Social Policy of John Stuart Mill
 ドクトル、オブ フイロツノイ 高 城 仙 次 郎

我國に於ける物價騰貴の根本的原因は何ぞや

批評と紹介

部は附録の『獨逸殖民地現勢一斑』に載せられたる、其記述の體裁は百科全書的にして制度と經濟的發展の關係を詳かにせざるは惜むべし。卷尾に載せたる歐米殖民地現勢の統計は各地に散在せる英、露、佛、獨、白、葡、和、米、伊、丁、西の十一箇の殖民地の地名、面積及人口の統計を收めたるを以て、殖民論の研究者には好參考を與ふるものと謂ふべし。(高城)

フィリップポグイチ原著 氣賀 勲 重解説 經濟政策後篇下卷
 大判七百三十頁 定價金貳圓五拾錢
 四十五年二月 東京同文館發行

本書は曩に氣質教授の健筆に依りて順次譯出發刊せられたるフ氏の經濟原論、經濟政策前編、經濟政策後編上卷の姉妹篇にして、之を以てフ氏が十ヶ年の苦心に成れる經濟全書の翻譯を完成するものなり。載する所は近時物價騰貴の趨勢に連れて世界各國の學者及經世家の注意を喚起せる勞働問題と密接の關係を有する勞働者所

得に對する政策論にして、全卷を分ちて總論、勞働所得政策及貧民政策の三部とし、總論には所得政策の性質、直接間接の所得政策等を論じ、第二部(勞働所得政策)を更に所得確保策と勞働政策との二章に小分し、第一章には勞働紹介の制度失業者の救護、勞働保險等に關する研究を載せ、第二章には勞働政策の職分、各種の勞銀支給方法、勞銀に關する争鬭(同盟罷工、工場閉鎖、同盟排斥、黒表)、勞銀協約と其の公定、勞銀保全の策生活費の輕減、住居の改善等を論じ、又第三部(貧民政策)に於ては貧民の性質、其の原因、貧民救助の歴史、貧民行政等を擧げたり。本書には又後篇全部の索引を卷末に收められたれば參考書としての便宜多し。

以上は單に本書所載の項目を列記したるのみなるが、詳細なる紹介は次號に載すべし。譯文に至りては達筆家として我學界に知られたる氣質教授の麗筆に成れるものなれば、茲に嗚々するの要なし。